

令和3年度第2回社会教育委員会定例会 会議録

【日時】 令和3年8月16日（月）15時～16時30分

【場所】 鎌倉商工会議所 301会議室

【出席委員】 蛭田議長、梨本副議長、杉並委員、島田委員、下山委員、高橋委員、石見委員、石井委員

【行政職員】 佐々木教育文化財部長、瀬谷教育文化財部次長、朴澤図書館長

【事務局】 松山社会教育主事、岸社会教育指導員

【議事内容】

1 開会

- ・定刻になり、蛭田議長から開会の宣言により会議を開始した。
- ・事務局より、委員10名のうち、田中委員、杉野委員の2名欠席。社会教育委員会議程第3条第1項の規程に基づき、過半数の出席があることから会議が成立していることを報告した。
- ・傍聴者1名。
- ・配付資料の確認を行った。

2 報告事項

ア 鎌倉市生涯学習センター利用に関するアンケート調査結果について

事務局よりアンケート集計結果のデーターを基に説明し、質疑応答を行了承された。

- ・アンケートは、施設のサービス向上、運営の充実のため利用実態や要望などを把握するために実施。6/8～7/9まで無作為に抽出した18歳以上の2,000人を対象としている。

梨本委員

クロス集計から、若い世代が利用しないという結果が具体的数字で見えた意義のある調査だった。インターネット、オンライン講座などのニーズの明らかな数字がでてきており、活かしていくべきことである。利用していない層にどのように働きかけていくか、というのは一つの大きな課題である。

島田委員

ホールの入替時間はそれなりに時間が必要。集会室とは利用目的が異なるため、利用実態に合わせた時間配分がよい。集会室の予約が取れず苦労している印象は強く、キャパ問題の課題

が明確ではないが具体的目的設定はあるのか。

佐々木教育文化財部長

昼間は利用が高く、夜間の利用が低いという状況がある。利用時間を分けて施設提供していくなど検討し、若年層をはじめ市民の利用実態、ニーズに合わせられるよう取組を進めていく。

島田委員

体育施設が、午前・午後・夜間の利用区分から、2時間単位で使えるように変更し非常によかった。隠れ空時間を活かしていく発想はよい。

石見委員

P T Aの集まりで、学習センターを利用して助かっているが予約がとれない。働く人が増え、昼間より夜間、土日の利用がある。子育てを終え、社会進出をする準備としての講座があると参加しやすい。

下山委員

会議は Zoom と両方で行っているので、Wi-Fi が入ってくるとよい。

石井委員

フリースペース的なものがあるとよい。若年層にとってフリースペースがあると使いやすさがある。

高橋委員

自分自身の活動の場合も、午後の利用時間帯（13 時～17 時）のうち利用は2時間程度で終わる。そのような時に3時間が空くという情報が前もってわかるとよい。

瀬谷教育文化財部次長

小回りに使用できるよう、利用区分を検討していく。

下山委員

遅い時間帯でないと仕事している人の参加が難しい。

石見委員

今コロナで閉鎖されているが、子どもが自由に行き勉強できる場所があると有難い。鎌倉には少ないと保護者から意見がある。

瀬谷教育文化財部次長

青少年課の管理になるが、鎌倉生涯学習センターに自習スペースコーナーがある。今後も継続していきたい。

石井委員

サークルの活動も多くあり、魅力的な講座が多く開催されているが、問題が改善していない点もある。

梨本委員

講座の運営の場合、教え教えられる関係ではなく、関心のある人が参加してみようという気持ちになったり、活動している人の情報交換の場になればと思う。駅前なのに十分活用されていない。

蛭田議長

社会教育を教育という角度で捉えると「学級講座」がわかりやすい。講座の運営の仕方、見直しが非常に重要で、ボランティアで運営されているようだが、対象など幅を広げていくのがよい。

蛭田議長

人材バンクは大事で、登録されている色々な人に出てきてもらい、アイデアやフラットな意見をもらったりすれば参考になる。学校との関わりにおいては、学社融合が浸透できないところがある。講座の中身をどうするかという提案があったが、学校との関わりを有することによって生涯学習の進め方変わるので、教育の課題ということにつながっていく。

杉並委員

団体の行う学習内容と学校教育がマッチしているかという点と難しい。先程の話にもあったが、センター1階フロアに学習スペースがあるとよい。学校でもSDGsなどに力を入れているので、そのような活動をやっているNPO団体の情報があると行ってみようにつながっていく。アナログ的だが、確かな部分が広まっていく方が、着実に裾野が広がっていく印象がある。子どもたちが集まった時に、関心を問うアンケートを蓄積していくと、子どもたちの思考、興味などを見定めることができる。

石井委員

学校教育の中で学べないような内容は、現在の取組みとしてよいと思っている。

梨本委員

学習センターを、子どもは知らなかったりする。図書館、国宝館、歴史文化交流館などの施設の使い方や、子ども自身が意見を出し話し合っ決めていくと、運営するための大きなヒントが得られるのではないかと。子どもたちが集まることできる。

イ 中央図書館耐震改修工事について

中央図書館長より工事状況の説明を行い、その結果了承された。

- ・工期は令和3年（2021年）9月から令和4年（2022年）3月。
- ・今後、工事の進捗状況により臨時窓口を設置していく。

ウ 令和3年度（2021年度）8月から11月までの行事一覧

事務局から配付資料を基に説明を行い、その結果了承された。

3 協議事項

社会教育委員会議の開催方法について

事務局よりオンライン会議についての必要性等の説明を行い、協議を行った結果、状況によってはオンライン会議開催する確認を得た。委員の主な意見は次のとおり。

- ・パンデミックな状況の中必要だ。

- ・書面会議よりはオンライン会議の方がよい。
- ・オンライン会議の方が良いと思う。ただ、オンラインの人と会場に来る人の双方がいる形でなく、オンライン会議ならオンラインのみがよい。
- ・オンラインには賛成だが、色々なことを話し合うには対面でしたほうがよい。
- ・両方でやると、途中切れてしまうので困る。オンラインは言いたいタイミングで言えないので、状況が許せるのであれば対面がよい。
- ・担保という意味でもオンラインはあったほうがよい。学校などでも音声認識ソフトを使うことが多くなっている。聴覚障害の方などのためにも言葉の記録になる。

4 その他

ア 令和3年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会

事務局から資料配布し説明を行った。

イ 社会教育委員会会議録について

令和3年（2021年）第2回社会教育委員会議の会議録は、委員の了承を得て、内容を確認した。

ウ 次回定例会（11月）の日程について

令和3年（2021年）11月16日（火）15時～で確定した。